

# 外壁アスベスト含有量調査時、除去施工時の注意事項

## アスベスト含有建材の確実な種別判定のお願い

外壁仕上げ塗材の石綿含有調査は **吹付塗材に含有** か **下地調整材(モルタル補修材)に含有** か判断できるよう調査してください。

外壁塗材に含有するアスベストが吹付塗材に含入なのか、下地調整材に含有なのかによって、除去法が変わります。調査時にどの建材に混入しているかを特定させることで適切な除去工法選定、除去レベル選定を行うことができます。

調査方法によっては、塗材と下地調整材を採取混合して調査する場合があります。この場合どの建材にアスベストが含有しているか解らないため、アスベスト検出時には **下地調整材を除去できる工法を選定** をする必要がありますのでご注意ください。

→ 基安化発0129第1号 平成30年1月29日 19ページ参照

### アスベストが構造物外壁に使用されていた可能性のある塗材、下地調整材の種類例

	塗装材の種類	期 間	石綿含有量(%)
建築用仕上塗装材 (水系・溶剤系・セメント系)	薄塗材C(セメントリシン)	1981~1988	0.4
	薄塗材E(樹脂系リシン)	1979~1987	0.1~0.9
	外装薄塗材S(溶剤系リシン)	1976~1988	0.9
	可とう形外装薄塗材E(弾性リシン)	1973~1993	1.5
	防水形外装薄塗材E(単層弾性)	1979~1988	0.1~0.2
	内装薄塗材Si(シリカリシン)	1978~1987	0.1
	内装薄塗材E(じゅらく)	1972~1988	0.2~0.9
	内装薄塗材W(京壁・じゅらく)	1970~1987	0.4~0.9
	複層塗材C(セメント系吹付けタイル)	1970~1985	0.2
	複層塗材CE(セメント系吹付けタイル)	1973~1999	0.1~0.5
	<b>複層塗材E(アクリル系吹付けタイル)</b>	<b>1970~1999</b>	<b>0.1~5.0</b>
	複層塗材Si(シリカ系吹付けタイル)	1975~1999	0.3~1.0
	複層塗材RE(水系エポキシタイル)	1970~1999	0.1~3.0
	複層塗材RS(溶剤系吹付けタイル)	1976~1988	0.1~3.2
	防水形複層塗材E(複層弾性)	1974~1996	0.1~4.6
	厚塗材C(セメントスタッコ)	1975~1999	0.1~3.2
厚塗材E(樹脂スタッコ)	1975~1988	0.1~0.4	
建築用下地調整塗材 (モルタル系)	<b>下地調整塗材C(セメント系フィラー)</b>	1970~2005	<b>0.1~6.2</b>
	下地調整塗材E(樹脂系フィラー)	1982~1987	0.5

乾式施工時のアスベスト粉塵は非常に飛散しやすいので、施工時、廃材排出時は特に注意が必要になります。

外壁仕上げ塗材に含有しているアスベストは、下地調整材(モルタル補修材)に比較的含有量が多く、調査後検出される事例が多いためご注意ください。

調査後下地調整材からアスベストを検出した場合、特定粉塵排出届等の労働基準監督署、環境局への届け出は不要です。